

⑤漁業者向けアンケートの項目と記入例

漁業者様 事業によるエネルギー消費量調査アンケートのお

※当てはまる番号、箇所に○をご記入いただき、それ以外の設問には数値の記載等でご回答ください。
 ※本アンケートでは、原則、直近の決算期の状況について記載ください。
 ご回答いただいた内容の該当期間を右の空欄に記載ください。 → 該当期間：(2021)年(1)月～(2021)年(12)月

記入例

問1	貴事業所のご芳名 有限会社 KIRITAPPU漁業								
問2	貴事業所の従業員数 (パート、アルバイト、家族を全て含む) ※この設問については現在の従業員数でも構いません 2 人								
問3	貴事業所の売上額 2,850 千円								
問4	貴事業所所有の船舶について								
	4-1. 保有台数								
	船舶の種類	総トン数	隻数	年間の使用燃料量					その他 (単位)
	(記入例) 延縄漁船	4.9 t	2	A重油	C重油	軽油	ガソリン	()	
	トロール漁船	5.6 t	1	96万 kL	kL	kL	kL	()	
				72万 kL	kL	kL	kL	()	
				kL	kL	kL	kL	()	
	t		kL				()		
	t		kL				()		
	合計		kL	kL	kL	kL	()		
問5	貴事業所の電気使用量について								
	5-1. 年間電力使用量 (45,700) kWh/年 もしくは()円/年								
	5-2. 契約電力会社 ほくでん その他 (社名) : FEH (Future Energy HAMANAKA)								
	5-3. 契約内容(年間電力使用量を金額でご回答の場合は必須) 低圧()kVA ・ 高圧(1)型6000V ・ 業務用(30,000V ・ 60,000V) ・ 特別高圧(30,000V ・ 60,000V) ・ その他()								
問6	貴事業所のエネルギー消費について (※該当する箇所に数字および単位を記載ください。使用していないものについては空欄でお願いします)								
		石炭	石炭製品 コークス	石炭ガス					
	年間使用量								
	年間料金								
		石油製品 (船舶燃料以外の利用について)							
		ガソリン使用	灯油	軽油使用					
	年間使用量		450L						
年間料金									
	ガス			熱					
	LPガス	天然ガス	木質ボイラー						
年間使用量									
年間料金									

1月からの1年間でなくてもご回答いただけます

漁船で使用される燃料についてすべて記載してください

各漁船での回答が難しい場合は年間の使用量合計として記載してください

検針票や月々の伝票をご確認ください

決算の帳簿などを参考に記載してください
 ある程度丸めた数字でも問題ありません
 『1か月平均約〇〇 kL』などでも可です
 使用量が不明で料金のみが分かる場合は年間の使用料金を記載してください

※注意
 年間使用量の欄には必ず単位(kL, m³ など)をご記載ください

※裏面へお進みください

貴事業所の再生可能エネルギーの導入について					
導入している再生エネルギー種別	定格出力(kW)	年間(予定)発電量(kWh/年)	発電した電力の利用方法	導入(予定)時期	備考
(記入例) 太陽光	10kW	17,000	自家利用後余剰分をFIT売電	2018	
※導入している再生エネルギー種別は、「太陽光」「風力」「水力」「地熱」「木質バイオマス」「廃棄物系バイオマス(生ごみ、家畜ふん尿等)」から記載ください。 ※発電した電力の利用方法は、「全量FIT売電」「全量自家利用」「自家利用後余剰分をFIT売電」から記載ください。FIT:固定価格買取制度 ※年間発電量については、原則、2018年4月～2019年3月期で記載ください。尚、それ以外については該当する期間を備考欄に記載ください。 ※今後導入を予定している場合は、導入予定時期および年間の予定発電量を記載ください。					
貴事業所の省エネの取組について					
8-1. LEDの導入の有無について					
(1) LEDを導入済み (2) LEDは導入していない					
8-2. LEDの導入の割合について					
LEDの導入割合は、照明全体の(5)割程度である					
8-3. LEDの導入の今後の意向について					
(1) 導入を予定している (2) 導入予定はない (3) 導入したい (4) 補助制度などがあれば導入したい (5) 導入したくない					
8-4. 設備機械の買い替え時における省エネ性能について					
(1) 優先項目にしている (2) 検討項目にしている (3) 検討対象にしている (4) 他の事項を優先している					
8-5. 省エネ性能の高い設備機械の導入の意向について					
(1) 導入を予定している (2) 導入予定はない (3) 導入したい (4) 補助制度などがあれば導入したい (5) 導入したくない					
バイオマス(生ごみ(食品廃棄物)や、魚の内臓、汚泥、貝殻、建材などを含む木質系廃棄物等)について					
9-1. 貴事業所からバイオマスは排出されますか					
(1) はい 具体的な種類: 魚の内臓 年間排出量: 5 t/年 (2) いいえ					
9-2. 排出されるバイオマスはどのように処分されていますか					
(1) 産業廃棄物業者利用で処分してもらう (2) 堆肥化やボイラー利用など再利用業者に渡している (3) 自社で再利用している					
「ゼロカーボンシティ宣言」や脱炭素の取組、再生可能エネルギーの導入は『あなたの事業』にどのような影響があると考えますか					
とても良い影響がある (1) 良い影響がある (2) あまり良い影響ではない (3) 良い影響ではない (4) 悪い影響になる (5) わからない (6)					

ご協力ありがとうございました。

2. 住民向けアンケートの集計・分析結果（本編 p. 32）

住民向けアンケートは町内全世帯に配布し、うち 261 世帯から回答を得た。そこで得られたエネルギー使用量の実績値を用いた拡大推計により、家庭部門の二酸化炭素排出量は 14,400 t-CO₂ と推計された。

家庭部門での使用エネルギー別二酸化炭素排出量

	LPG	灯油	ほくでん	新電力	二酸化炭素排出量合計
エネルギー使用量	76 t	1784 kL	16,109,826 kWh	99,182 kWh	14,400 t
二酸化炭素排出量	227.39 t	4443.23 t	9682.01 t	46.92 t	

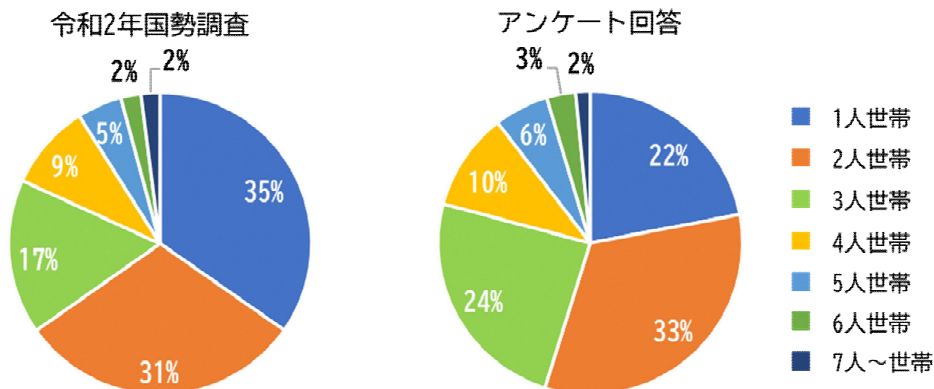
環境省自治体排出量カルテにおける二酸化炭素排出量は 12,070 t-CO₂ であり、アンケート調査では、北海道の統計情報に比べて回答世帯のオール電化率が高く（詳細後述）、電力消費量が大きかったことなどが推計値との差として表れていると考えられる。

その他、アンケートの集計・分析結果は以下のとおり。

①世帯人数比率

2019 年の国勢調査と比較して、単身世帯の割合が低くなった。

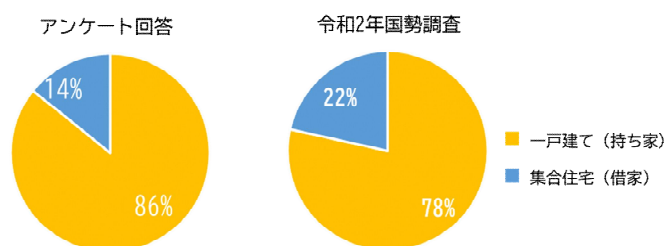
統計	世帯人数	合計	1	2	3	4	5	6	7~
	世帯数		2319	805	708	385	213	111	50
	割合	100%	35%	31%	17%	9%	5%	2%	2%
今回	世帯人数	合計	1	2	3	4	5	6	7~
	世帯数	261	58	86	63	27	15	8	4
	割合	100%	22%	33%	24%	10%	6%	3%	2%



②一戸建て率（=持ち家率）

2019年の国勢調査と比較して、一戸建ての世帯の比率が高くなった。

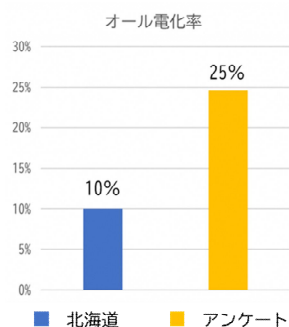
	今回		統計	
	数	率	数	率
有効回答	254	—	2,264	—
一戸建て	218	86%	1,776	78%
集合	36	14%	488	22%



③回答世帯のオール電化率

北海道の統計情報に比べアンケート回答世帯のオール電化率が高かった。

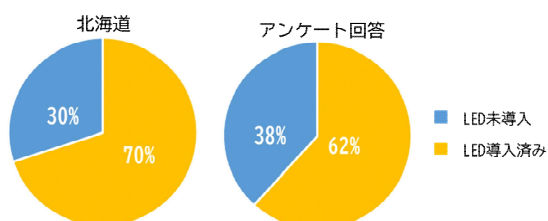
有効回答	191
オール電化	47
率	25%
統計	10%



④LED導入割合について

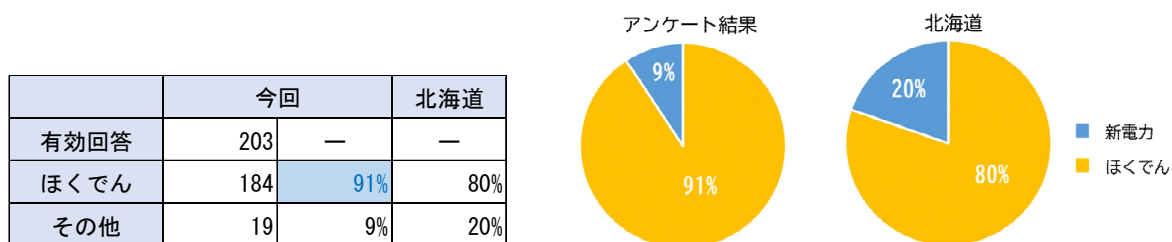
令和2年度 家庭部門のCO₂排出実態調査の数字（一部でもLEDを導入している世帯）と今回のアンケート回答の比較では、浜中町のLED導入量は平均より少ないことが表れている。

有効回答	261
LED導入済	161
LED未導入	100
LED化率	62%
※統計	70%



⑤電力の購入先について

経済産業省 電力・ガス取引監視等委員会公表、令和4年4月時点での電力取引の状況によると、北海道の家庭（低圧利用）での新電力利用率は20%程度となっている。一方、今回のアンケートの結果から、浜中町での新電力利用率は9%であり、新電力の利用率は平均よりも低い結果となっている。



⑥その他省エネ家電の導入世帯数について

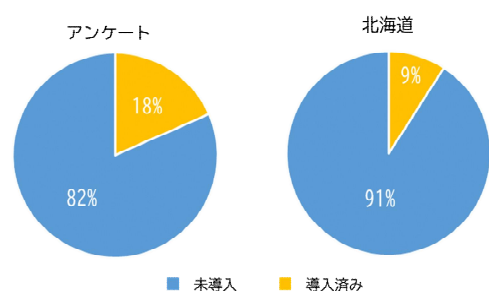
各家電において省エネ性能の高いものへ今後置き換えていくポテンシャルがある。

	冷蔵庫	テレビ	エアコン	温水便座	その他
導入済	87	87	38	51	5
導入割合	34%	34%	15%	20%	2%

⑦次世代自動車の導入割合について

北海道庁公開データ（令和3年度）によると、北海道での次世代自動車（EV車やハイブリッド車）の導入率は9%程度となっている。一方今回のアンケート回答では18%（593台中109台）となっており、浜中町の次世代自動車導入率は平均より高い結果になっている。

回答総車両数	596	100%
EV	4	1%
PHEV	0	0%
ハイブリッド	106	18%
合計	110	18%
北海道	—	9%



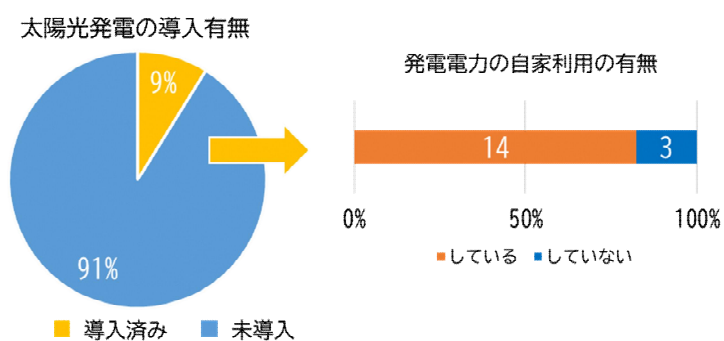
⑧太陽光発電導入割合・導入希望

今回のアンケート回答では、太陽光発電の利用者は9%となり、そのうちの14件が発電電力を自家利用していた。

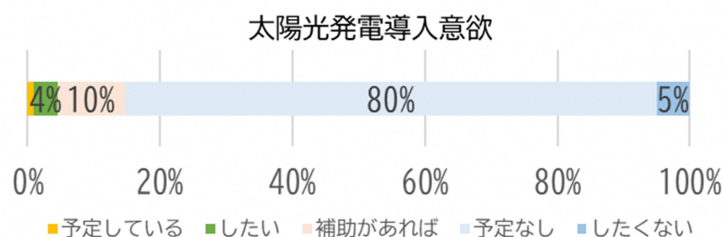
太陽光発電の導入に関しては、好意的な意見（予定している、したい、補助があれば導入したい）は回答の15%、否定的な意見（予定なし、したくない）が85%であった。

有効回答	238	100%
導入している	21	9%
導入していない	217	91%

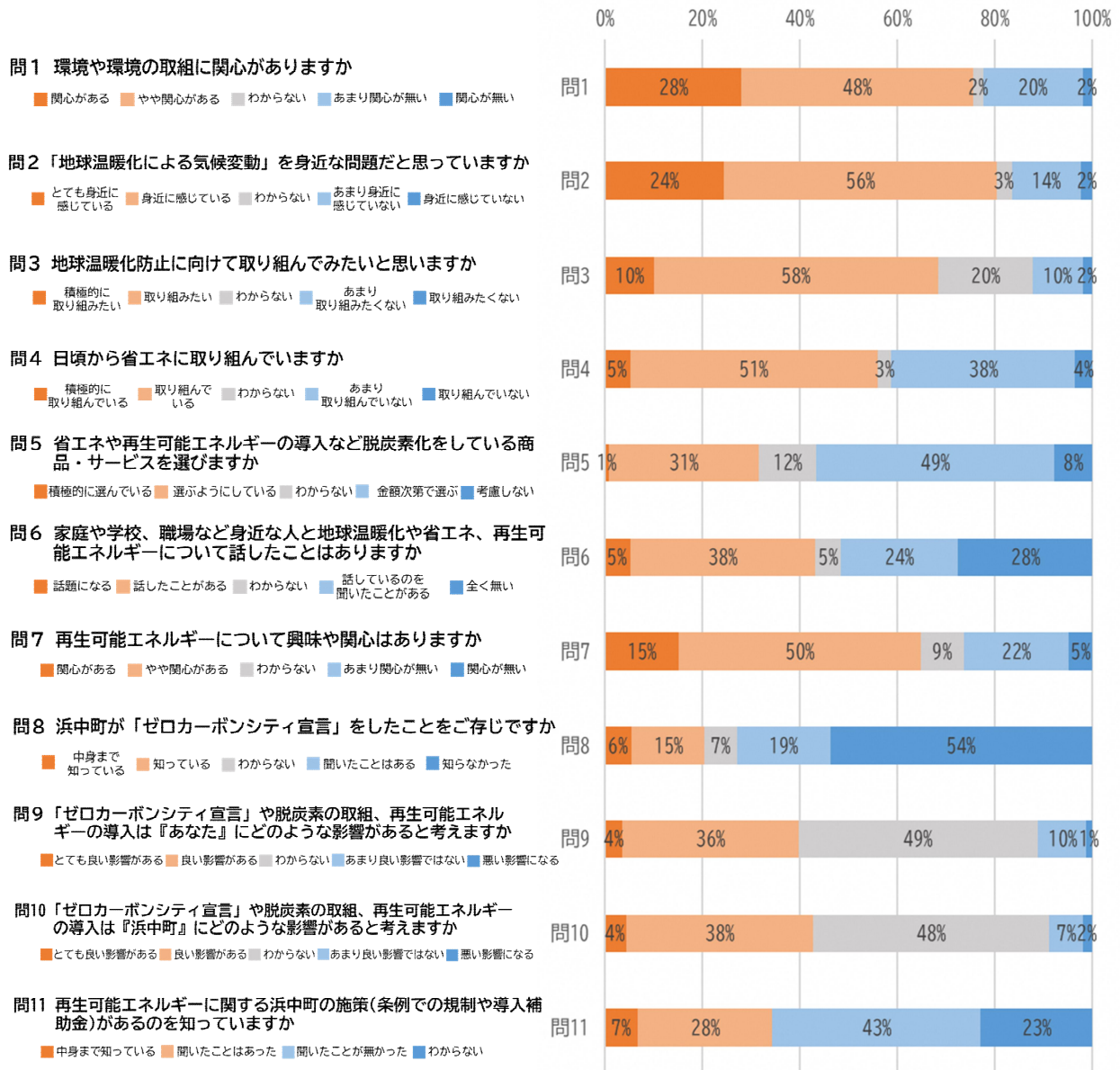
自家利用している	14
自家利用していない	3
無回答	4



有効回答	218	100%
予定している	2	1%
したい	8	4%
補助があれば	22	10%
予定なし	175	80%
したくない	11	5%



3. 住民向けアンケート（環境意識）の集計・分析結果（本編 p. 32）



取組についての質問（問3～5）では、内容が具体的になるにつれ前向きな回答が少なくなった。問6、問7の回答では、再生可能エネルギーについて町内での関心が高いことが分かる。ただし、ここでの興味・関心については、ポジティブなものばかりでなく、町内に設置されている再エネ関連施設の現状を踏まえてネガティブなものも含まれると考えられる。問9、問10の自身や浜中町への影響についての質問に対して、どちらも「わからない」が49%で最も多い回答となった。メリット、デメリットを含めて、脱炭素の取組等に関する情報発信が必要である。

4. 事業者向けアンケートの集計・分析結果 (本編 p. 32)

事業者向けアンケートは町内の全事業者に配布し、うち 86 事業者から回答を得た。そこで得られたエネルギー使用量の実績値を用いた拡大推計により、各部門の二酸化炭素排出量を推計した。

オリジナル推計		回答数	二酸化炭素排出量推計結果 (t-CO_2)	
産業部門	製造業	8 事業者	19.85	
	建設業・鉱業	5 事業者	2.19	
	農林水産業	酪農	16 事業者	14.85
		漁業	18 事業者	6.76
		林業	—	—
業務その他部門	公務以外	39 事業者	5.92	

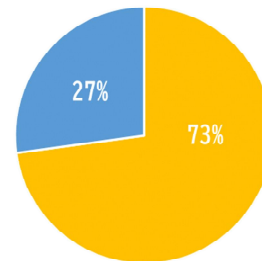
その他、アンケートの集計・分析結果は以下のとおり。

①LED の導入有無及び導入意向

LED 導入に関しては多くの事業者がすでに LED を導入しており、引き続きの導入意向も確認できた。

●導入有無

有効回答	78	100%
導入している	57	73%
導入していない	21	27%



●導入意欲

有効回答	67
予定している	19
したい	13
補助があれば	17
予定なし	18
したくない	0

